

# 環境教育「まず、今できることから」

発行所：地域環境活性化協議会  
 編集者：代表幹事 高橋 賢一  
 連絡先：市民活動支援センター  
 尾張旭市淡川町三丁目5番地7  
 (淡川福祉センター内)  
 TEL0561-51-2878



▲大谷中原地区  
 集落を  
 佐久間ダム  
 湖を見る。

北風を受け  
 いち形湖から  
 の朝霧を  
 受ける村特有  
 の気候が  
 良木の栽培  
 に適している。

急峻な山間地であるため、村に畑はなく、田も全面積の0.5パーセントを占めるにすぎない。しかし、朝夕のわずかながらの畑地は丹念に耕され、茶畑の畝が階段をなしている。陽当りが良く

島山村は総面積の九十四パーセントを山林におおわれた、典型的な山村である。平地はほとんどなく、全村が急峻な山岳地物だ。気候は温暖で佐久間ダム湖の影響により、年間を通じて湿度が高く、雷の発生が多い。

「あんじやない。とみやまむら」  
 ロバと散歩  
 平成二十三年八月九日(火)  
 動物と触れ合いながら  
 朝の散歩をのんびり



生命と、のり  
 生命の尊いとは  
 言うまでもない。  
 モンや金は失われ  
 ても回復できる  
 が、生命は戻ら  
 ない。  
 人間の生きること  
 の原点は、それ  
 は他の動物よりも  
 同様であらう。  
 人間が生きもの  
 の生命をいかに  
 らに奪っていくも  
 のかどうかが  
 これは文化の差  
 で世界各地域  
 で事情は異なる  
 ている。

万物に「存続の価値」

村は坂が急の  
 ためロバも下ろ  
 のはいが登る  
 のがやむを得  
 ロバは食へるもの  
 が限られてるを  
 道草とは食  
 べる。  
 子供達も日に  
 寝て、元気で  
 大きいロバは男  
 子、小さいロバは  
 女の子。  
 ます都念で  
 んな散歩はあ  
 りません。

